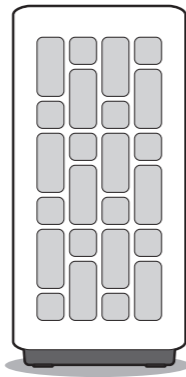




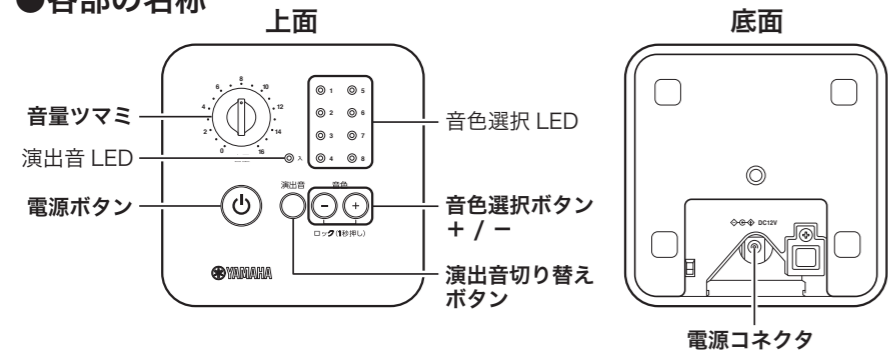
ヤマハスピーチプライバシーシステム
フロアタイプ

VSP-1

クイックスタートマニュアル

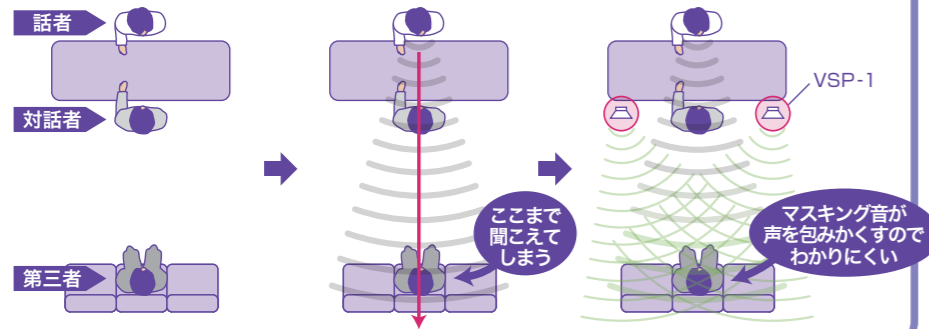


●各部の名称



●VSP-1の機能

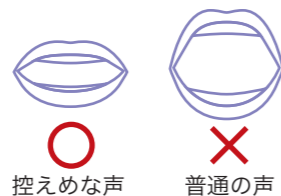
VSP-1 はヤマハ独自の情報マスキング技術により、話者と対話者の会話を、第三者に聞き取りにくくします。人の声や自然の音などから合成されたヤマハマスキング音で会話の内容を包みかくし、安心して心地よい音空間を提供します。



知っておいていただきたいこと

重要 VSP-1は話者に控えめな声でお話いただくなど、使用者のご理解・ご協力を得て効果を発揮するシステムです。

VSP-1は話者がプライバシーに配慮した「控えめな声」で話す時に効果を発揮します。普通の声量・話し声では、会話の内容が聞きとれる場合があります。



ステップ

1 設置の準備をする

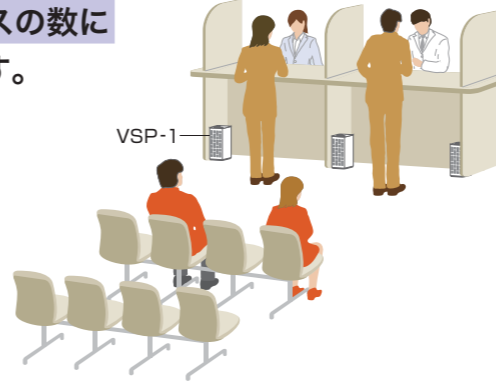
取扱説明書
P13~P15

■カウンターに設置する場合

設置台数は設置するブースの数に1を加えた台数が目安です。

右図の場合はカウンターが2ブース、設置台数は3台です。

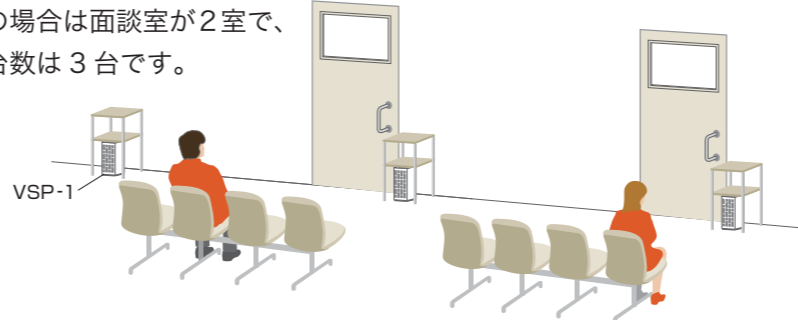
※VSP-1同士の間隔が2m以内になるように設置してください。



■中待合に設置する場合

設置台数は設置する面談室の数に1を加えた台数が目安です。

右図の場合は面談室が2室で、設置台数は3台です。

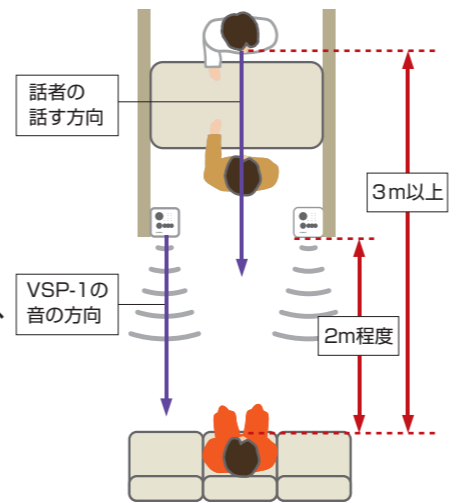


※VSP-1同士の間隔が4m以内になるように設置してください。

👉 正しく効果を得るために

- VSP-1は床面に設置してください。
- 話者と第三者の距離は、3m以上離してください。VSP-1と第三者の距離は、2m程度離すことをお勧めします。
- VSP-1の向き(音の出る方向)は、話者の話す方向と、平行になるように設置してください。

※右図は設置の一例です。



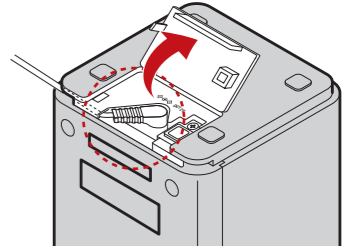
ステップ

2 電源を入れる

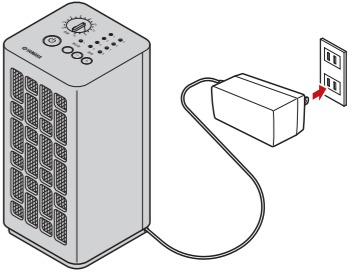
取扱説明書
P16

1 底面カバーを開け、付属のACアダプターを電源コネクタに接続します。

ACアダプターのケーブルは、左右どちらかの溝にはめ込んでください。



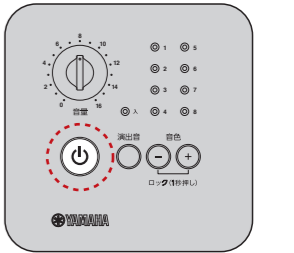
2 ACアダプターをコンセントに接続します。



3 電源ボタンを押します。

マスキング音の再生が開始されます。

電源を切るには、電源ボタンを長押しします。



ステップ

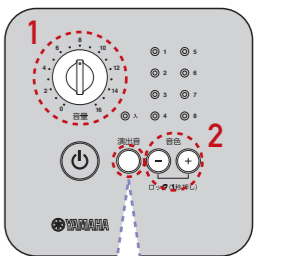
3 音量・音色を設定する

取扱説明書
P17

1 音量ツマミで音量を設定します。

カウンターで使用する場合、音量の目安は「8~10」です。

中待合で使用する場合、音量の目安は「6~8」です。



2 音色を選択します。

音色選択ボタン+または-を押し8種類から設置環境やお好みに合わせて音色を選択します。

演出音が気になるときは「演出音切り替えボタン」でオフにします。

4 声と音量のバランスを調整し最適な設定をする

1 効果を確認します。
確認は3人で行います。

2 VSP-1の電源を入れ音量・音色を設定します。
音量はカウンターで使用する場合は「8~10」、
中待合は「6~8」を目安に設定してください。

→ステップ3参照

3 エアコンやパソコンなど、営業時間に作動させて
いる機器の電源を入れてください。

4 下図のように3人が話者・対話者・第三者役となり、
話者・対話者は業務を想定した会話を行ってください。
この時話者は、業務に支障のない範囲の控えめな声
で話してください。

■カウンターでの確認例



5 第三者役の方は、カウンターの会話内容が
聞き取りにくい確認してください。

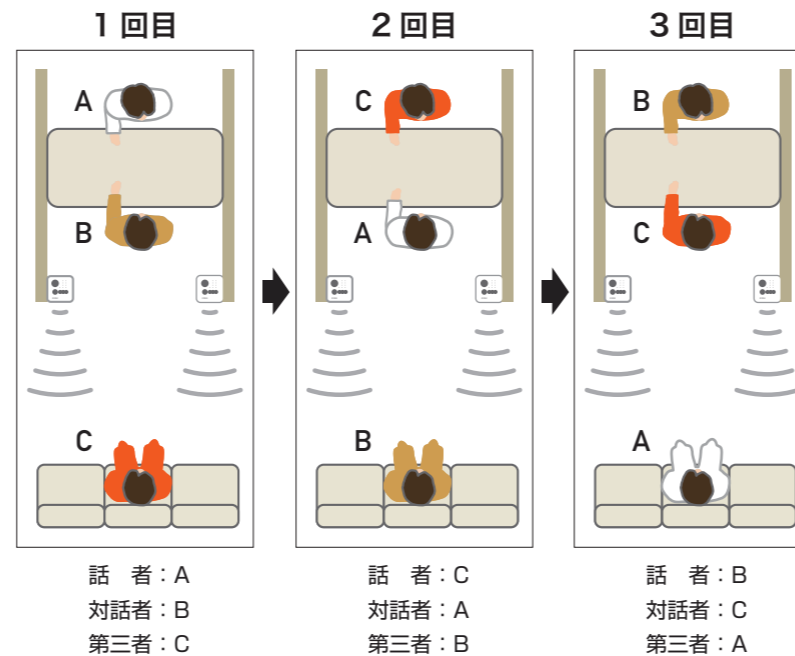
聞き取りにくい場合

良好です。
次へ進んでください。

聞き取れる場合

話者は声量を下げて
ください。
ただし声量不足で業務に
支障がでる場合は VSP-1
の音量を上げてください。

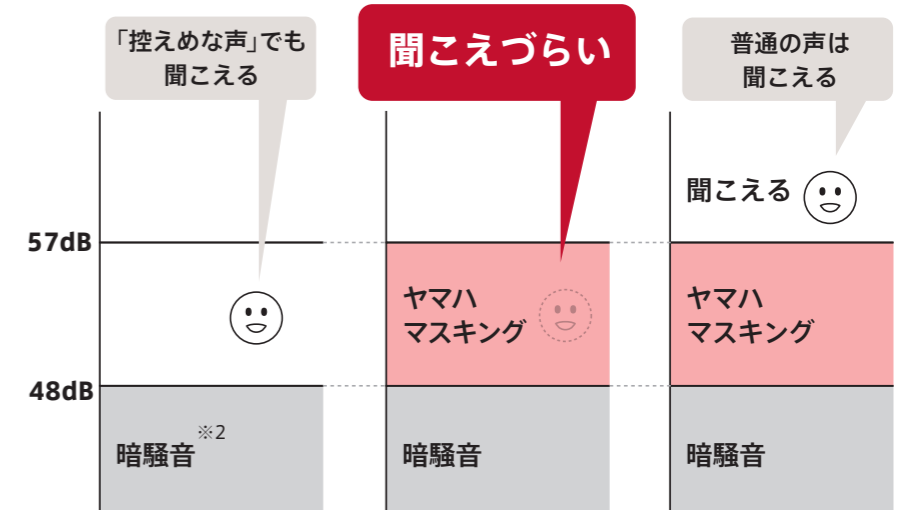
6 話者、対話者、第三者の役割を交代しながら4→5を
行い、全員が控えめな声の程度を確認します。



※交代で話者役を勤め、全員が第三者に聞き取りにくい声の大きさを
把握できたら、VSP-1の音量は下げることが可能です。

会話の内容が聞き取れてしまう場合

ステップ4の確認で第三者が会話内容を聞きとれる場合、
話者はより控えめな声量でお話してください。VSP-1は
57dB^{※1}以下の「控えめな声」で話す時に効果を発揮します。



※1 カウンターで使用する場合の目安です。

※2 暗騒音：その場所に存在している騒音。

*上記の数値は、おおよその目安です。

(設定環境・設置条件により暗騒音、聞こえづらい範囲は変動します。)

話者が声量を控えめにすると業務に差し障りがある場合は、
VSP-1の音量を上げてください。音量を上げるとマスキング
効果は上がりますが、周囲の「うるささ」も増します。

話者の声の大きさとVSP-1の音量の兼ね合いで、マスキング
効果と周囲の音環境は変化します。

二つの音量のバランスを調整して、ご使用場所にとって最適な
設定を行ってください。

VSP-1の音量を変更したり、話者が代わるなど声量に変化した場合は、
ステップ4を再度行ってマスキング効果を確認してください。